

## ソフトウェアライセンスの契約

「プログラム使用許諾契約書」ともいいますが、**ちょっと疑問？**

### プログラムの使用を許諾する権利は何か？


- 正しく入手した書籍を読むのに許諾が必要でしょうか？
- 正しく入手した音楽を聴くのに許諾が必要でしょうか？
- 正しく入手したプログラムを使用するのに許諾が必要でしょうか？

※ 最近の文化庁「著作権に関するワークブック」グループ中間まとめでの議論が  
[http://www.cnc.or.jp/cn/REPORT/2012\\_2\\_20\\_2\\_main.html](http://www.cnc.or.jp/cn/REPORT/2012_2_20_2_main.html)

- **利用**とは、複製行為を含む複製権等の行使に基づき行為を指す。
- **使用**とは、著作物を見る、聴く等の行為による著作物の享受を指す。

♪ 著作権には、複製権など著作権と呼ばれている権利は存在してはいるが、**使用権は無い。**

♪ シュリンクラップ契約や使用権付ライセンス・契約で  
使用権のようものを意図的に権利放棄している



Copyright 2013

### 3.主な評価対象となるライセンス

OSライセンスとソフトウェアライセンスの違い④(3/27)

- ソフトウェアライセンスはプログラム機能を実行可能な状態にするための権利です。  
 既に所有するソフトウェアライセンスを複製して使用することは可能ですが、  
 複製したソフトウェアライセンスを複製することはできません。

```

graph LR
    subgraph SW_HW_license [SW/HW license]
        P1[プログラム1]
        P2[プログラム2]
    end
    SW_HW_license --> SL1[ソフトウェアライセンス1]
  
```


- 一方、著作権に基づいているOSSライセンスは、評価対象は個々のプログラムの著作権、  
 IPに一致・類似の権利から成り立っています。そのため、  
 それぞれのOSSソフトウェアの権利、つまり、複製権を必要とすることがあります。

```

graph LR
    subgraph SW_HW_license [SW/HW license]
        P1[プログラム1]
        P2[プログラム2]
        I3[画像3]
    end
    P1 --> OSL1[OSSライセンス1]
    P2 --> OSL2[OSSライセンス2]
    I3 --> L3[ライセンス3]
  
```


15 (C) Copyright 2017 by 株式会社日立システムズ

実は、著作権を理解しなければ、OSSライセンスは理解できない

GNU GPLなど、OSS  ライセンスは難しい

難しいと思えるのはOSSライセンスではなく、著作権。

著作権も多くの人が馴染みがないだけ。

17 (C) NEC Corporation 2017  <https://creativecommons.jp/licenses/by/4.0/>

**GNU GPLv2 第3条**: <http://www.gnu.org/licenses/gpl-2.0.html>

3. あなたは上記第1条および2条の条件に従い、**許諾条件1**([LICENSED BY YOU](#))「**プログラムを再配布する権利をオブジェクトコードでない実行形式で複製または頒布することが出来る。**」と**許諾条件2**([LICENSED BY YOU](#))「**ただし、その場合あなたは以下のうちどれか1つを実施しなければならない:**」

- a) 著作物に、「プログラム」に対応した完全かつ機械で読み取り可能なソースコードを提供する。
- b) 著作物に、**他人がソースコードを入手し提供することなくとも、問は有効な署名になった申し出を送る。** (注: 後述)

**許諾条件3**([LICENSED BY YOU](#))「**再頒布の前にならば、『本付』は出来ぬから、再頒布の場合、『条件a』『再頒布の『真意』』ではない、それでは手遅れ。既に著作権者である私に連絡して欲しい。**」

GNU GPLは、契約ではない

■ GNU GPLを作成した人達が、「GPLは契約ではない」と繰り返し述べていたことをご存じでしょうか？

■ 例は、GPLv2当時FSF法務担当で、のちにGPLv3起草者の一人であるコロンビア大学のEben Moglen氏が2001年、以下の文章を公表



Enforcing the GNU GPL

by Eben Moglen  
10 September 2001 <http://www.gnu.org/philosophy/enforcing-gpl.html>

Licenses are not contracts: ライセンスsは契約ではない

[illegible][illegible]

ちなみに、OSS検出ツールで違反を判定できるわけではありません

違反の候補になり得る、OSSソースコードに似たコードを検出

検出されたコードが違反か否かは人手で確認する必要があります

●検出されたコードは、著作権があると言えるコードか？

●誰がコーディングしても同じになるコードに創作性があると思えない

- ・コード変換テーブル
- ・エラーコード一覧の#defineのヘッダファイル
- ・インタフェース仕様しかないヘッダファイル
- ・ハードウェアに依存したコンパンス

●全く同じでも一切参照せず独自にコーディングしたものではないか？

●GPLのOSSとBSDのOSSなど複数のOSSに一致した場合、  
ます、どれを流用したと考えるのが妥当か？

●等々

ツール結果の解析方法を支援できれば、宝の持ち腐れ

OSSのライセンスや脆弱性対策にBlackDuck Hubを展示しています。

Black Duck Hub

- BoM作成・脆弱性確認
- メール通知機能(push通知)

Orchestrating a brighter world

NEC

OSSライセンス・コンプライアンス コンサルティング・サービス

<http://jpn.nec.com/oss/osslc/>